

時経ちて ふと 思う

芽が出て 膨らんで 花が咲いたら  
一緒に花を見ようと思っていたのに  
もう 貴女はいない

貴女が この世に残した言葉は  
私に 新たな芽吹きを促し  
気づきを与えてくれる

そして 私は  
我が家で咲いた花々を抱えて  
貴女が暮らした島へ渡る

ひとり ぽつりと 浜辺に立ち  
目を そっと閉じると  
貴女との思い出が  
走馬灯のように駆け巡る

私は次の世代に  
どんな芽吹きを促せるのだろうか